

令和6年度施策評価シート（評価対象年度：令和5年度）

基本政策【分野】	誰もが生涯にわたり 安心して健やかに暮らせるまちづくり 【福祉・保健分野】	施策	09_地域医療	所管部長 取りまとめ所属	健康づくり担当部長 健康づくり課		
施策の内容	市民がいつでも安心して医療サービスを受けられる環境を維持するため、かかりつけ医の普及促進など、医療機関の役割分担と連携を促進するとともに、救急医療体制を維持するための支援等を図ります。 また、関係機関等と連携しながら、新たな感染症や災害発生等の危機事態に対応可能な医療体制の確保に努めます。						
めざす姿	ニーズに対応した地域医療体制が整い、いつでも安心して医療サービスを受けることができます。						
重点事業	—						
施策構成事業	院内保育推進事業費	市医師会等補助金		救急医療対策費			
	休日夜間急患診療所等運営費	救急医療体制整備促進費		産科医師分娩手当補助金			
	かかりつけ医普及定着促進事業費						
評価							
進捗評価	順調	評価の判断理由	救急医療体制を維持できています。また、関係機関等とも平時から連携し、情報共有・意見交換を行うことができているため、有事にも協力しあえる体制が維持できています。				
施策推進上の課題・環境変化	医療法の改正（医師の働き方改革）により、令和6年4月、医師に対する時間外労働の上限規制の適用が開始されました。休日夜間急患診療所の運営に東海大学病院医師の協力も得ていますが、今後の超過勤務の制限により派遣が減少する可能性があります。						
評価の経過	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	順調						
施策推進の方向性							
方向性	継続						
総評・今後の施策推進方針	医師会事務局との定期的な事務調整を継続し、東海大学病院、伊勢原協同病院とも適宜、情報共有・事務調整を行い、各機関と市内における医療体制に関する課題を共有し、連携して市民が安心して医療サービスを受けられる環境を維持します。						
成果指標							
成果指標名	現状値	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	R 8 実績値	R 9 実績値	R 9 目標値(方向性)
指標の定義							
安心して医療機関を利用できると感じる市民の割合	79.1% (R4)	79.1%					/
市民意識調査で「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と回答した人の割合							
かかりつけ医がいる市民の割合	66.8% (R4)	67.5%					/
市民意識調査で「かかりつけ医を持っている」と回答した人の割合							
重点事業の取組内容							
事業名	—						
事業内容	—						
取組工程	項目	令和5年度					
		計画		実績			
	—	—		—			
令和5年度取組内容	—						
重点事業以外の取組内容							
令和5年度主な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●安定した救急医療体制を維持するため、医療機関・関係機関に対し財政支援を行いました。 ●医療機関の役割分担と連携を促進するため、初めて「かかりつけ薬局」普及啓発を目的とした「くすりの講座」を実施しました。 						